

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://www.aomori.doyu.jp E-mail/info@aomori.doyu.jp



第9回企業展実行委員会 委員長 渡辺 精一 氏
((有)松竹梅造園 代表取締役)

10月5日(金)・6日(土)の両日、第9回企業展スローガン「つながる」のもとに、会場である八甲田丸に集結し、開催することが出来ました。

準備作業から設営、運営に亘ってご尽力いただいた出展企業並びに、実行委員の皆様、また各方面でご支援、ご協力頂いた同友会会員企業の皆様に心からの感謝を申し上げます。

1日目は企業間マッチングでありました。出展企業同士が互いの社業を知り、新たな連携を創出するきっかけを目指しました。狭い(一坪)ブースの中で自社をPRする。お客様(会員同志)で一對一で向き合った時、人間力が磨かれるのだと思います。

2018/10/5~6 開催
出展企業 26社
ありがとうございました!



2日目は一般開放。地域経済を支える主役である中小企業の取り組みを、広く市民に知らしめると同時に、会員企業で働く社員と、その家族がふれあい、より理解を深める元気を発信する日です。

1日目の各企業ブースをまわって見て、聞いて、話して、学んだことをもっと広く自社をPRする実践の場になります。教えてもらったことは忘れるが、自らが見て体感して、学んだものは忘れないと言います。

この企業展の取り組みを今後の経営に活かし、少しずつでも輝き、誇りのもてる仕事をしていきたいものです。そのためにも全県で行う企業展は必要です。



【 8/23 八戸支部 8 月納涼例会 参加者 34 名】



【 8/27 青森支部 8 月例会 参加者 44 名】



【 9/1 三本木農業高校企業見学バスツアー 参加者 31 名】



【 9/10 八戸支部 9 月例会 参加者 38 名】



青森県中小企業家同友会 創立 20 周年記念行事



◆創立 20 周年記念講演



「日本はなぜ世界の国々から
愛されるのか」
～ 今、私達が学ぶべきこと～
一般社団法人 アジア支援機構
代表理事 池間 哲郎 氏

池間講師の話聞いて、もっと日本人として誇りを持って生きなければいけないと思いました。先人たちのように立派な行動をする事が子ども達の未来を作ることに繋がると理解できました。同友会には今後も、青森を支える経営者を育成する活動をしてほしいです。

今後、働き方改革などのテーマで例会等を開催してほしいです。

会員・青森市

20 周年記念講演をうけて、今の高校生の殆どは誇りも自信もなく、尊敬もしていない。人と接するうえで、愛をもって接する事で自分にも返ってくると感じました。日本人として誇りを持ち、「ちゃんとした」日本にして、それを継承していこうと思いました。

会員・八戸市

貧しい国の子ども達の事や、日本の将来について等、「自分には何もできない・そんな力はない」と思い、見て見ぬふりをしてきたが、そうではないと、その子ども達の事や今の日本の現状を知り、少しでも考える事が大事なのではないか、何もしてあげられなくても考えて思うことが大事ではないかと思った。

自分は経営者ではないが、会社の事をもっと知り、どうしたら良くなるかを少しでも考える事が必要なのだと気付いた。

社員・青森市

人の見かた、人から見られる見られかた、感じかた、感じようとする事、人によって捉えかたが違うという事が、会社でも同じ事が言えると思いました。

自分の立場にもよりますが、色々な言葉でも表現でも捉えかたが変わると思いました。ありがとうございました。

社員・青森市

【 9/12 青森支部ガイダンス 参加者 19 名 】



【 9/14 津軽支部ピア例会 参加者 19 名 】



【 9/26 下北支部 9 月例会 参加者 27 名 】



9月 上十三支部例会

わが社の事業承継はこうでした

～継がせる側、継ぐ側の視点から考える～



◆報告者
東日本機電開発(株)
取締役会長 水戸谷 完爾 氏
代表取締役社長 水戸谷 剛 氏

2018/9/25 参加者 24 名

★ 参加感想文 ★★

◆「継ぐ側の視点」

事業継続に当たって誰しもが抱える事は、事業の承継です。今回のグループ討論の議題が「円滑な承継の為にあなたが取り組むべきことは何ですか？」でした。家族経営であろうがそうでない会社の成り立ちでも、円滑は難しいと討論になりました。身内であるがゆえに兄弟同士で考えがちがう。託せる社員に思いを伝えても断られる等。社長の決断が問われるところだと思います。

今回の水戸谷氏の報告を聞き、承継については色々な事がありながらも継承に至っています。そこで先代社長が取り組んだ経営指針が上手にルーツとして成り立っている事に感心しました。親子では難しい部分の語り合えないところを現在社長がゆっくりでありながらも感じ取り、そして新たに自分のこれからの事業として取り組む姿が見えました。

私自身、経営指針は継続のための計画書と固く思っていました。伝える事で繋がるものと、改めて考え直すことができました。

記/鈴木建設工業(株) 取締役総務部長 附田郁子



9月理事会報告

於：事務局 2018.9.4(火)

1) 報告事項

- 青森同友会の各種事業と全国行事について
 - ①2018 北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会 in 青森
 - ②第 16 期経営指針を創る会第 5 講
 - ③2018 組織強化・会員増強全国交流会
- 西日本豪雨災害支援金について
- 県すこやか福祉事業団からの協力要請について
- 共同求人活動運営委員会の取り組みについて
- 8 月入退会報告

2) 審議事項

- 青森同友会設立 20 周年記念事業について
 - 会員増強について
 - 各支部、委員会からの報告
- 会員数 387 名/入会 0 退会 0 社

10 月理事会報告

於：事務局 2018.10.2(火)

1) 報告事項

- 青森同友会の各種事業と全国行事について
 - ①2018 北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会 in 青森
 - ②第 16 期経営指針を創る会第 6 講
- 20 周年記念事業協賛金について
- 西日本豪雨災害支援金について
- 9 月入退会報告

2) 審議事項

- 最高改正での周年行事開催に向けて
 - 青森同友会設立 20 周年記念事業について
 - 各種団体からの依頼について
 - 各支部、委員会からの報告
- 会員数 383 名/入会 0 退会 4 社